

## 札幌心臓血管クリニックを受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中でご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、下記の担当者までご連絡ください。

研究課題名 (研究番号)	大腿膝窩動脈病変を有する閉塞性動脈硬化症患者に対するパクリタキセル薬剤溶出型末梢ステントを用いた血管内治療に関する多施設・前向き研究 <b>Contemporary outcomes After Paclitaxel-eluting peripheral Stent implantation for symptomatic lower limb IsChemia with sUperficial femoral or proximal popliteal lesion (CAPSICUM study)</b>
当院の研究責任者 (所属)	原口拓也 (循環器内科 末梢血管センター 内科部門長)
他の研究機関および各施設の研究責任者	関西労災病院 循環器内科 副部長 飯田 修
本研究の目的	大腿膝窩動脈病変を有する症候性閉塞性動脈硬化症患者様に対し、パクリタキセル薬剤溶出型末梢ステントである <b>ZilverPTX</b> ステントまたは <b>Eluvia</b> ステントを用いた血管内治療の実臨床における 12 ヶ月の治療成績の実態を明らかにし、その関連因子を探索すること。
調査データ 該当期間	2019年3月～2020年2月まで (予定)
研究の方法 (使用する試料等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象となる患者さま 上記期間内に大腿膝窩動脈病変を有する症候性閉塞性動脈硬化症に対してパクリタキセル薬剤溶出型末梢ステントである <b>ZilverPTX</b> ステントまたは <b>Eluvia</b> ステントを留置させた患者様</li> <li>●利用する情報 患者様背景、病変背景、治療情報、治療後情報など 主にカルテ情報からであり、資料の扱いはない</li> </ul>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	多施設共同研究であり、上記の他の研究機関・研究責任者へ提供
個人情報の取り扱い	個人情報等の取り扱いについては、症例を登録した各施設において個人が特定できないように匿名化コードを付与します。個人を特定できる情報等が当該施設の研究関係者以外に知らせることはないように致します。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	電話：011-784-7847 研究担当医師：循環器内科 原口拓也
備考	